

測協×県土木部 意見交換会

最低制限引上げ必要

早期災害復旧へ情報共有も



原価を切り詰めながら利益確保している現状を説明した
＝鹿児島市のアートホテル鹿児島

県建設業協会川内支部（外園太一郎支部長）の役員パトロールで、28日、薩摩川内市であった。役員ら4人が抜き打ちで現場を視察。年度末の多忙期を迎える中、工事完了までの安全事故無災害に向けての安全管理体制の徹底を呼び掛けた。

同日は、植村一副支部長（植村組）、中村徹事務理事（木場建設）、福山征志理事（福山組）、森山博信監事（鶴丸興業）が診断した。

パトは、薩摩川内市発注で福山組が施工する「入来学校給食センター」改修（建築）と木場建設の「同（機械設備）」、西日本興業の「道路メンテナンス」事業亦沢津橋補修」を点検。現場代理人から、

多忙期、安全管理徹底を

建協川内支部抜打ちバト

全対策等を点検して、川内建設会館で行われた反省会では、「建築・土木ともに足場関係が適切になされ、作業動線も確保されている」として「安全管理は良好」と判断。植村副支部長は「第三者対策をはじめ、墜落・転倒災害などの重大事故が発生しないよう、年度末までの安全対策の周知徹底をお願いしたい」と講評した。

意見交換会は、県土本部の荒川泰二次長は、はじめとする16人が出席、業績の健全な発展と技術者の魅力向上を図り、①担い手の確保・育成のための環境整備 ②指名・入札・契約・積算に関する制度等の改善 など六つの柱について見解を交わした。中でも重要項目とされる最低制限価格の引き上げでは、予定価格から約20%も安い価格での受注による「原価を切り詰める企業努力で利益を確保している」と主張。働き方改革やDX等に対応するため技術や人材、就労環境に関する投資が積極的

意見交換は、県土本部の荒川泰二次長は、はじめとする16人が出席、業績の健全な発展と技術者の魅力向上を図り、①担い手の確保・育成のための環境整備 ②指名・入札・契約・積算に関する制度等の改善 など六つの柱について見解を交わした。中でも重要項目とされる最低制限価格の引き上げでは、予定価格から約20%も安い価格での受注による「原価を切り詰める企業努力で利益を確保している」と主張。働き方改革やDX等に対応するため技術や人材、就労環境に関する投資が積極

や被災箇所の地形（保有している場合）など、会員企業が必要とする情報を伝えた。災害対応関連では、箇所数を考慮した積算や復旧業務の随意契約等も要望。市町村から災害復旧業務の一時、中止阻止も含め、柔軟な工期の延長等を求めた。

このほか、事業特性や地域事情を踏まえられた適切な工期の確保や納期の平準化、計画で安定した事業量の確保による受注機会の拡大も提言。会員企業から意見を吸い上げた個別・継続要望も伝えた。



工事完了までの無事故無災害を呼び掛けた
＝薩摩川内市の現地

グリーンテックらを表彰
あまみ地域づくり褒賞

県大島支庁はこのほど、2024年度あまみ地域づくり褒賞の表彰対象者を発表した。28日、奄美市の同支庁会議室で表彰授与式があり、松藤啓介支庁長がグリーンテック（且優勇蔵社長）、県建築士会奄美・大島支部（重信千代乃支部長）など1個人5団体に賞状を贈呈した。写真。褒賞は同支庁が11年

に創設。まちづくりや地域産業の分野で貢献した団体や個人を毎年表彰しており、松藤支庁長は受賞者を前に「引き続き地域発展の一翼を担い、活動充実と地域リーダーとしての役割に努めることを願う」とたえた。

グリーンテックについては、外来種駆除など環境保全の活動やあまみSDGs推進パ-

グリーンテックらを表彰

あまみ地域づくり褒賞



延実防炎連
間の実施など
行政や業界と
連携した事業
活動の展開が
評価された。

受賞を受け
且社長は「奄
美の子供たち
のため活気あ
るまちづくり
に努めたい。」
重信支部長
(重信設計)
は「奄美らし
さのある地域
にこれからも
ついでに」とそ
れ

お手軽で便利な
購読料のお支払い
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

喜界町、最終処分場落成式

循環型社会へ来月稼働

終了後、安永会長（国土技術コンサルタ
ンツ）は「（県側が）
日常的に互いの意見を
交わす機会をつくらう
と言ってくれた。これ

までは年1回の開催だったため、行政民間の連携を強化して、よりよい業界を目指したい」と語った。

建設場所は同町塩道
6-1。処分場は、建
築面積2975・26㎡
(敷地面積2万4559
4・26㎡)。S造平屋
建て被覆型施設の埋め

能で周辺環境への影響を抑えており、1日当たり受け入れ量は約1t、稼働計画は15年間とした。

工事は峰山建設（峰山
奥恵喜社長）が担当。
建設工事費11億718
7万5000円を含む、
総事業費は約12億80
00万円を計上。

社会の形成に向けた大きな一歩。地域の安心安全に全力で取り組むと挨拶。峰山社長ら代表者とともにテーブルカットを行い、稼働開



隈崎町長（中央）
や峰山社長（左）
らが稼働開始を
祝った＝喜界町の
現地

粗大ごみなどを埋設処分する。これまで焼却灰は島外搬出しており、長きにわたり懸案だった処分施設の整備は同町の念願だった。廃棄物の飛散や汚水漏れを防止する機

女性活躍推進企業

植村組を認定

薩摩川内市

植村組（植村一社長）が薩摩川内市の女性活躍推進企業に認定され27日、同市役所で田中良二市長から植村社長に認定証が手渡された。

制度や育休取得後の労働時間短縮制度などを整備し、女性社員の継続した就労を支えている。また、従業員の適性や希望を踏まえた女



登用を行うほか、一般職から総合職への転換、企業グループ内でのアルumnai採用による再雇用制度を取り入れ、キャリア形成を推進し男女共に働きやすい職場の、男性の育休取

社会の形成に向けた大きな一歩。地域の安心安全に全力で取り組むと挨拶。峰山社長ら代表者とともにテーブルカットを行い、稼働開始を喜んだ。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ